

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

**せん妄ハイリスク評価に基づく精神科・認知
症ケアチームコンサルトの要因の検討**

1. 対象となる患者さん

2016年1月～2025年12月の間に当院で入院による治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 健康管理センター 山室 和彦

3. 研究の目的と意義

本研究は、2016年1月以降に入院した患者全体を対象とし、せん妄ハイリスク評価を用いて各年齢層、特に60歳以上における精神科・認知症ケアチームへのコンサルトリスクを解析します。さらに、65歳以上の高齢患者においては、入院時の生活自立度（ランクⅢ以上／未満）や身体拘束の実施状況についても解析対象とし、身体機能やケアの負荷が精神的支援の必要性とどのように関係しているかを検討します。各因子の寄与を明らかにすることで、せん妄の早期診断・介入の根拠を確立し、患者ケアの質向上と医療資源の適正配分に貢献する意義があります。

4. 研究の方法

本研究は、2016年1月以降に入院した患者さんの診療記録を使い、せん妄の発生リスクと診療判断の関係を調べます。データはコンピュータで安全に分析され、個人が特定できないよう処理しますので、参加を望まない方は辞退できます。

5. 使用する情報

診療情報：年齢・性別・既往歴、主診療科、入院病棟、内服薬、せん妄ハイリスク評価スコアおよびその構成項目（70歳以上、脳器質的障害、認知症、せん妄既往、アルコール使用歴、リスク薬剤使用、全身麻酔下手術）に加え、入院時の日常生活自立度（生活機能（入浴、更衣、洗身、排泄）に基づいたランクⅢ以上またはランクⅢ未満の簡易判定）、身体拘束の有無（拘束の理由・手段・実施期間を含む）

対象となる患者さん：2016年1月～2025年12月の間に当院で入院による治療を受けられ、せん妄ハイリスク評価が実施された患者さん

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 健康管理センター

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2030年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表いたしません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 健康管理センター

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：muro@naramed-u.ac.jp